

展示室1 小特集：フランク・ブランギン



フランク・ブランギン 市場

フランク・ブランギン（1867～1956）は、ベルギーに生まれ、イギリスで活躍した画家です。油絵、水彩画、版画など、様々な表現を用いて作品を制作しました。

彼の作品は豊かな色彩に富み、力強い筆のタッチと陰影表現で、独特の装飾的な情緒にあふれています。また、銅版画など線の表現が魅力となる分野でも、すぐれた作品を制作しました。絵にする題材は歴史的な主題、寓話、日常の風景など様々で、建築物の壁画なども手がけていました。

彼はまた、イギリスに渡って活躍していた日本の木版画家・漆原木虫（1889～1953）と多くの共同制作を行いました。ブランギンの絵を、木虫が版に起こした作品は、西洋の感性と日本の技術が見事に融合し、みずみずしい風景画となっています。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
フランク・ブランギン	市場		エッチング・紙
フランク・ブランギン（画）漆原木虫（刻）	外国風景		木版・紙
フランク・ブランギン（画）漆原木虫（刻）	夜景（馬車）		木版・紙
フランク・ブランギン（画）漆原木虫（刻）	夜景（用水池）		木版・紙
フランク・ブランギン（画）漆原木虫（刻）	橋のある風景		木版・紙
フランク・ブランギン（画）漆原木虫（刻）	船着場		木版・紙
フランク・ブランギン（画）漆原木虫（刻）	風景		木版・紙
フランク・ブランギン（画）漆原木虫（刻）	『木版画集』		木版・紙／ポートフォリオ
フランク・ブランギン	ヴェニス・運河	1924年	油彩・キャンバス
フランク・ブランギン	花園	1900年頃	油彩・板
フランク・ブランギン	馬車		水彩・紙

○イギリス近代美術

サー・エドワード・コッリー・バーン＝ジョーンズ	フローラ	1868～84年	油彩・キャンバス
サー・ジョシュア・レイノルズ	エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像	1777年	油彩・キャンバス
トマス・ゲインズボロ	オース夫人の肖像	1767年	油彩・キャンバス
リチャード・ウィルソン	ケケロの別荘		油彩・キャンバス
ジョセフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カンバーランド州のコールダー・ブリッジ	1810年	油彩・キャンバス
ジョン・コンスタブル	デダムの谷	1802年	油彩・キャンバス
ジョン・マーティン	フレッシュウォーター・ベイ	1815年頃	油彩・キャンバス

展示室2 岸田劉生と草土社



岸田劉生 男之像

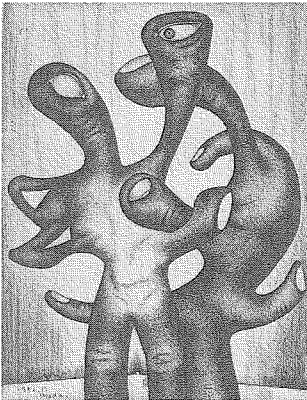
大正時代、日本には後期印象派、フォーヴィスムといった西洋の新しい美術の流れが次々に押し寄せていました。そんな中、岸田劉生、木村荘八らが中心となって結成した草土社の画家たちは、時代に逆行するかのようには写実に徹し、神秘的な雰囲気漂わせる作品を描いていました。

1915（大正4）年の第1回展から1922（大正11）年の第9回展まで開催された草土社とは、その名のとおり「草」と「土」という私たちの足元を改めて見つめ直した美術団体です。それは日本人としての表現を模索することであり、なおかつ、対象を見る自分自身、描いている自分自身を見つめ直す姿勢でもありました。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
作者不詳	第2回草土社美術展覧会ポスター	1916（大正5）	木版・紙
清宮 彬	第3回草土社美術展覧会ポスター	1916（大正5）	木版・紙
清宮 彬	第6回草土社美術展覧会ポスター	1918（大正7）	木版・紙
清宮 彬	第9回草土社美術展覧会ポスター	1922（大正11）	木版・紙
岸田劉生	『劉生図案画集』	1921（大正10）	木版・紙／ポートフォリオ
木村荘八	道のある風景	1914（大正3）	油彩・キャンバス
木村荘八	祖母の顔	1916（大正5）	油彩・板
木村荘八	暮るゝ堤	1926（大正15）	油彩・板
中川一政	冬の郊外（葱畑）	1918（大正7）頃	油彩・キャンバス
バーナード・リーチ	きこり		油彩・紙
横堀角次郎	秋景	1927（昭和2）	油彩・板
河野通勢	ホレブの岩		油彩・板
岸田劉生	築地風景	1912（大正元）	木版・紙
岸田劉生	The Earth（大地）	1915（大正4）	木版・紙
岸田劉生	男之像	1919（大正8）	水彩・紙
岸田劉生	銀座数寄屋橋	1909（明治42）頃	油彩・板
岸田劉生	銀座と数寄屋橋畔	1911（明治44）頃	油彩・板

作者名	作品名	制作年	技法・材質
岸田劉生	照子像	1920 (大正9)	水彩・紙
岸田劉生	群像	1915 (大正4)	インク・紙
岸田劉生	丹絵ごのみ・腕子		木版・紙 (※寿ビル寄贈)
岸田劉生	天地創造 (3点組)	1914 (大正3) (後摺: 昭和50年)	エッチング・紙
木村荘八	禪の見える風景	1915 (大正4)	インク・水彩・紙
木村荘八	中島君の像	1916 (大正5)	水彩・紙
木村荘八	人物のいる風景		インク・紙
木村荘八	空き地		インク・紙
河野通勢	樞花川風景	1914 (大正3)	インク・紙
河野通勢	ソロモンの審判	1919 (大正8)	インク・紙
河野通勢	聖書	1920 (大正9)	インク・紙
河野通勢	樹木スケッチ	1915 (大正4)	インク・紙

展示室 3 見えない世界を描く



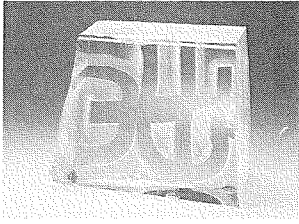
池田龍雄 化物の系譜シリーズ『像』

絵は、目に見える実在のものを写すだけではなく、実際には存在しないかもしれない世界を描き出したり、心の中の思いや感情を目に見えるかたちや色であらわすことができます。画面の中にどんな世界を創出するのか、画家は自由自在に描くことができます。

実在したら恐ろしいような光景、夢の中のような不思議な場面、神や精霊など人間を超えた存在…。目には見えないはずの世界が描かれた作品をご覧ください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
鎌田正蔵	遁走		油彩・キャンバス 鎌田正蔵氏寄贈
池田龍雄	化物の系譜シリーズ『像』	1956(昭和31)	インク、コンテ・紙
池田龍雄	禽獣記シリーズ『めん鳥』	1957(昭和32)	インク、コンテ・紙
鶴岡政男	降霊術	1961(昭和36)	油彩・キャンバス
山下菊二	顔の中の顔	1963(昭和38)	油彩、コラージュ・キャンバス
白木正一	虫癪	1948(昭和23)	油彩・キャンバス
早瀬龍江	似而非宗教	1953(昭和28)	油彩・キャンバス 白木正一氏寄贈
早瀬龍江	絶望の人間	1958(昭和33)	油彩・キャンバス 白木正一氏寄贈
石井茂雄	戒嚴状態—暴カシリーズより	1956(昭和31)	油彩・キャンバス
芳賀忠行	虚構の風景—城	1974(昭和49)	油彩・キャンバス
鎌田正蔵	白日夢	1938(昭和13)	油彩・キャンバス 鎌田正蔵氏寄贈
鎌田正蔵	魔の山	1938(昭和13)頃	油彩・キャンバス 鎌田正蔵氏寄贈
早瀬龍江	營	1940(昭和15)	油彩・キャンバス
杉全直	ふたりの肖像	1949(昭和24)	油彩・キャンバス
古賀春江	蝸牛のいる田舎	1928(昭和3)	油彩・キャンバス
小山田二郎	鳥女		水彩・インク
小山田二郎	花の精	1957(昭和32)	水彩・紙
白木正一	ポイント	1955(昭和30)	油彩、エナメル・キャンバス
田淵安一	ラ・セーヴ (樹の精)	1957(昭和32)	油彩・キャンバス
池田龍雄	解体類考シリーズI	1968(昭和43)	インク、コンテ・紙
堀内正和	顔	1955(昭和30)	鉄、セメント

展示室4 生誕100年—佐藤潤四郎の世界



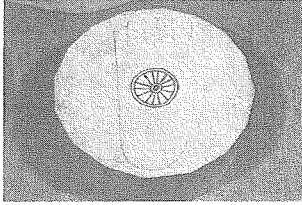
佐藤潤四郎 オブジェ

佐藤潤四郎は郡山市出身の国際的な工芸家です。生まれは1907（明治40）年、今年が生誕100年目にあたります。その記念として、通常よりもスペースを拡大して佐藤潤四郎の世界を紹介いたします。

金工、とくに鍛金の作家としてデビューした潤四郎ですが、クリスタルガラスの巨匠・各務鑛三と知り合いガラス工芸に転進します。潤四郎のガラス作品は、柔和でなごむような感じのする作風が特徴です。冷たいイメージのあるクリスタルガラスですが、潤四郎の作品は、「柔らかいガラス」とか「暖かいガラス」と呼ばれ親しまれてきました。誰もが知ってる、あのウィスキーボトルの原形はその代表です。ガラス以外にも、金工、陶器、そして素描にも、その特徴が濃くあらわれています。

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
○ ガラス				
佐藤潤四郎	オブジェ・これ以上芽の出ない世界	1980～82（昭和55～57）頃	宙吹き	
佐藤潤四郎	置物・花	1954（昭和29）頃	サンドブラスト	
佐藤潤四郎	オブジェ・羊車	1980～82（昭和55～57）頃	宙吹き・プランツ	
佐藤潤四郎	灰皿		型押し	
佐藤潤四郎	魚（オレンジ）	1973～76（昭和48～51）頃	宙吹き・カレット封入	
佐藤潤四郎	魚（ブルー）	1973～76（昭和48～51）頃	宙吹き・カレット封入	
佐藤潤四郎	オブジェ・魚拓	1972（昭和47）頃	宙吹き	
佐藤潤四郎	オブジェ・魚拓	1972（昭和47）頃	宙吹き・カレット封入	
佐藤潤四郎	オブジェ	1984（昭和59）	サンドブラスト	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	オブジェ・仏足跡	1984（昭和59）頃	サンドブラスト	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	花器・ちょっと考えて（樹）		宙吹き・グラヴェール	
佐藤潤四郎	花器・馬車に乗るガラスの神様	1973～76（昭和48～51）頃	宙吹き・サンドブラスト	(株)ノリタケクリスタル寄贈
佐藤潤四郎	クリスタル六角鉢		宙吹き	
佐藤潤四郎	花器・何をしようか	1986（昭和61）	宙吹き	
佐藤潤四郎	花器		宙吹き	
佐藤潤四郎	鍛鉄花器	1986（昭和61）	鍛鉄吹込	
佐藤潤四郎	花器・アダムとイヴ		宙吹き・サンドブラスト	
佐藤潤四郎	花器		宙吹き・カレット封入	
佐藤潤四郎	奈良・薬師寺西塔舍利器（試作）	1978（昭和53）	宙吹き・グラヴェール	
佐藤潤四郎	奈良・薬師寺西塔舍利小容器（試作）		宙吹き・プランツ	
佐藤潤四郎	奈良・薬師寺玄奘三蔵院舍利器（控）No.1	1980（昭和55）	宙吹き・カット	
佐藤潤四郎	奈良・薬師寺玄奘三蔵院舍利器カバー（控）No.1	1984（昭和59）	宙吹き・プランツ、雲母封入	
佐藤潤四郎	舍利器		宙吹き・カット	
佐藤潤四郎	舍利器		宙吹き・カレット融着	
佐藤潤四郎	舍利器		宙吹き・グラヴェール	
佐藤潤四郎	オブジェ・仏足跡ロータス	1984（昭和59）	エッチング、サンドブラスト	
佐藤潤四郎	花器・仏足跡ロータス		宙吹き・サンドブラスト	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	水指		宙吹き・カット	
佐藤潤四郎	水指（プランツ）	1986（昭和61）	型吹き・プランツ	
佐藤潤四郎	植物文瓶		宙吹き・グラヴェール	
佐藤潤四郎	『スーパーニッカ』手吹きボトル	1962（昭和37）頃	宙吹き	川崎清氏寄贈
佐藤潤四郎	ルーマー杯・なみなみのワインを		宙吹き・グラヴェール、プランツ	
佐藤潤四郎	ルーマー杯（グリーン）		宙吹き・プランツ	石川和子氏寄贈
佐藤潤四郎	フンベングラス	1975（昭和50）頃	宙吹き	小林東洋氏寄贈
佐藤潤四郎	ワイングラス		宙吹き・グラヴェール	
佐藤潤四郎	オリンピックブルー硝子皿	1941（昭和16）頃	宙吹き	石井謙治氏寄贈
佐藤潤四郎	硯屏・いのしし	1966（昭和41）頃	サンドキャスト	木村四郎氏寄贈
佐藤潤四郎	スタンドグラス・仏足跡		スタンドグラス	佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	スタンドグラス・窯		スタンドグラス	小林東洋氏寄贈
○ 陶器・金工など				
佐藤潤四郎	オブジェ・鍛鉄羊車		鍛鉄	寄託作品
佐藤潤四郎	オブジェ・ガラスを吹く人		鍛鉄	寄託作品
佐藤潤四郎	陶皿に描く1～4		陶器	寄託作品
佐藤潤四郎	陶板・比翼の鳥		陶器	内藤雅夫氏ご夫妻寄贈
佐藤潤四郎	陶板4枚		陶器	寄託作品
○ ドローイング				
佐藤潤四郎	ガラスを吹く人の足元			寄託作品
佐藤潤四郎	プランツのある水指			佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	自画像4点			佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	ガラス工場風景3点			佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	インド・サリーの女			寄託作品
佐藤潤四郎	ロンドンの屋根			寄託作品
佐藤潤四郎	ガラスでつくろう			寄託作品

ロビー展示 彫刻・他



佐藤潤四郎 石で仏足跡

作者名	作品名	制作年	技法・材質	
● 1階階段ホール踊り場 佐藤潤四郎	陶器で仏足跡1・2	1958(昭和33)	陶器	寄託作品
● 1階展示ロビー アントニー・ゴームリー	量子雲XXIII	2000	ステンレス、スチール棒	
アントニー・ゴームリー	領域XIII	2000	ステンレス、スチール棒	
細川宗英	装飾古墳シリーズ9	1963(昭和38)	セメント	細川明子氏寄贈
● 1階サブエントランス 笠置季男	躍進	1958(昭和33)	セメント	
● 2階展示ロビー 佐藤潤四郎	石で仏足跡	1958(昭和33)	石	寄託作品
北村四海	井冰鹿の娘	1917(大正6)	大理石	
アリストイード・マイヨール	もの思い	1930	ブロンズ	大高善二郎氏寄贈
高田博厚	アラン像	1932(昭和7)	ブロンズ	
清水多嘉示	フランスの女	1927(昭和2)	ブロンズ	
● 屋外 バリー・フラナガン	野兎と鐘	1988	ブロンズ	

※作品は都合により一部展示替えを行なうことがあります。